2024年PDGAのルール改正に伴うスコア記録に関するJPDGAの指針

JPDGA。 ー 田本ディスクゴルフ協会

2024年からスコア記録の方法について PDGAにおいて変更がありました。 この改正を受けて、JPDGAにおいては国内事情を鑑みながら、次のような指針をお示しします。 *本指針は2024年6月15-16日開催の第19回マスターズ日本選手権/第8回美浦オープンより適用致します。

(本指針の適用範囲)

JPDGA公式戦のうちNT・ABT-A,Bについては、本指針に基づいた大会運営をお願いします。 LT及び地方で実施される大会や月例会等については、主催者独自の判断で結構です。

(スコアカード等の準備に関する基本的な考え方)

大会主催者においてはスコアカードとデジタルスコアシステムを準備してください。 処々の事情によりデジタルスコアシステムの準備ができない場合は、スコアカードのみでも可としますが、 デジタルスコアシステムのみは認められません。

(スコアカードの準備)

大会主催者においては「(参加者数×予選ラウンド数)+準決勝、決勝進出者数」のスコアカードを準備することが望ましい。 また、鉛筆等の筆記用具については参加者数分を準備しておくことが望ましい。

(デジタルスコアシステムの準備)

大会において利用するデジタルスコアシステムを大会主催者が選定してください。 デジタルスコアシステムは、PDGAデジタルスコアの利用を強くお勧めします。 また、大会において利用するデジタルスコアシステムについて要項やプレーヤーズミーティングにおいて参加者に周知してください。 選定したシステム以外のシステムを利用してのスコア記録は当該大会においては公式なスコア記録にはなりません。 (この場合は、スコアカードの提出を求めてください)

プレーヤー基本手順(記録・送信)



全プレーヤーは同一パーティー全員のスコアを記録しなければならない。

スコア記録の方法は、主催者が選定したデジタルスコアシステムでの記録を強くお勧めします。また、何か問題が発生した場合に備えて、紙と鉛筆またはペンをバッグの中に入れておくことをお勧めします。

※プレーヤーは、指定した自身のキャディーにのみ、自分のスコアの記録を任せることができます。スコア誤記に関するペナルティはルールブックに準じます。



ラウンド終了後、パーティ全員でスコアチェックを実施

スコアカードの場合は、各プレーヤーのサインは不要。ただし、スコアカードの記入者がわかるように自分の名前に印等をつけておく



デジタル利用

チェック終了後に 送信

スコアカード利用

チェック終了後に 本部に提出



デジタル送信した選手は、スコアカードの提出は不要

- *ラウンド終了後できるだけ速やかに! 30分以内に送信や提出がない場合は、未提出選手に 2投のペナルティ
- * 全員が送信または提出しなければなりません
- * 自分が提出したスコアに自身のスコア間違いがあった場合のみ正式なスコアに 2投のペナルティ

本部基本手順(スコアチェック)

スコアカードとデジタルスコアシステムを準備

スコアカードのみはOK デジタルスコアシステムのみはNG デジタルスコアシステムはPDGAデジタルスコアを推奨)

パターン1 ※以下の「デジタル」はPDGAデジタルスコアを想定

パーティ全員がデジタルの場合⇒スコアチェック不要

パターン2

パーティ全員がカードの場合⇒トータルスコアを突合⇒合わなければ各ホールを確認

パターン3

デジタル提出が1名の場合

デジタルとすべてのスコアカードのトータルスコアを突合 ⇒合わなければ各ホールを確認

デジタル提出が2~3名の場合

デジタルひとつとすべてのスコアカードのトータルスコアを突合 ⇒合わなければ各ホールを確認



本部基本手順(ペナルティ処理)

パターン1の場合

全員の数値が合致しないと送信できないのでペナルティは発生しない。

パターン2・3の場合

自分が提出したスコアにおいて自分自身のスコアに誤記があった場合のみ、当該プレーヤーに 対して「正しいスコア+2投」のペナルティが課される。

* 自分が提出したスコアにおいて、他選手のスコア誤記があった場合は、ペナルティは課されない。

その他の留意点

- * エントリー時に参加者にスコアカードの準備の有無を確認することで準備するカード等の必要数を減らすことも可能です。
- * 準決勝及び決勝ラウンド等、主催者が公式スコアラー(映像用スコアなど)を手配する場合も、選手自身(もしくは指定されたキャディー)によるスコア記録が必要です。
- *LTや地域で開催される大会・月例会等については本指針の適用範囲ではありません。本指針を参考になさっても構いませんし、従来のような方式でも問題ありません。

